

11 適正化の具体 (4)北部地域 ②各校の現状

- ・奈良市内普通科高校のさらなる特色化のために、生徒急増期に設置された奈良市内の**普通科単独校3校**(平城、登美ヶ丘、西の京)を**特色ある2校に再編**
- ・**奈良高校**の耐震整備未実施への対応についても検討が必要

平城高校(奈良市朱雀2-11)

【S55開校】



- ・普通科**9**学級。入学後希望者は将来小学校教員を目指す**教育キャリアコース**を選択



西の京高校(奈良市六条西3-24-1)

【S53開校】



- ・普通科**7**学級及び普通科(地域創生コース)**1**学級。**地域創生コース**では、将来、地域の発展に貢献し地域のよさを発信できる人材を育成

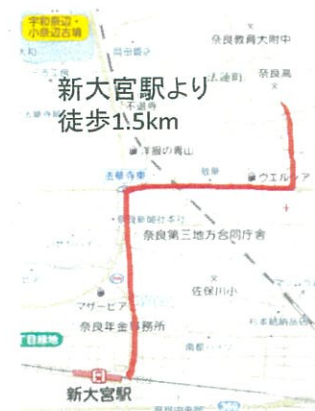


奈良高校

(奈良市法蓮町836)

- ・普通科**10**学級。スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、科学技術の発展に寄与する人材を育成

【T13開校、S42移転】



登美ヶ丘高校(奈良市二名町1944-12)

【S62開校】



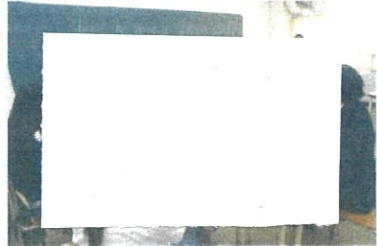
- ・普通科**6**学級。これまで、外国語教育や探究活動に関する研究を実施。

学研奈良登美ヶ丘駅
より徒歩1km
学園前駅から奈良交通バス



11 適正化の具体 (4)北部地域 ③新しい学校の設置

奈良市内の普通科単独校3校(平城、登美ヶ丘、西の京)を閉校とし、特色ある2校を開校

現状	(仮称)奈良創生高校	(仮称)国際高校
〔規模適正化〕 3校 25学級	西の京校地を使用 1学年8学級	登美ヶ丘校地を使用 1学年6学級
本県の課題をグローバルな視点でとらえ課題解決に取り組む人材が必要		
〔特色化〕 3校 普通科	○地域観光や地域医療のローカルな課題に対応できる人材を育成 □ 地域創生学科(総合学科) ・地域開発系列 県立大学地域創造学部との連携  【西の京高校フィールドワーク(薬師寺)の様子】 ・地域医療系列 奈良県総合医療センターとの連携 □ 普通科	○グローバルな課題に対応できる人材を育成 □ 国際探究科 ・外国人を教員として登用し、グローバル教育を実施するとともに第二外国語を必修化  【東京都立国際高校の授業風景】 →将来の国際バカロレア認定中高一貫教育実施に向け研究 □ 普通科

西の京高校地域創生コースの成果を継承

平城高校教育コースの成果を継承

登美ヶ丘高校の教育研究(外国語、探究活動)の成果を継承

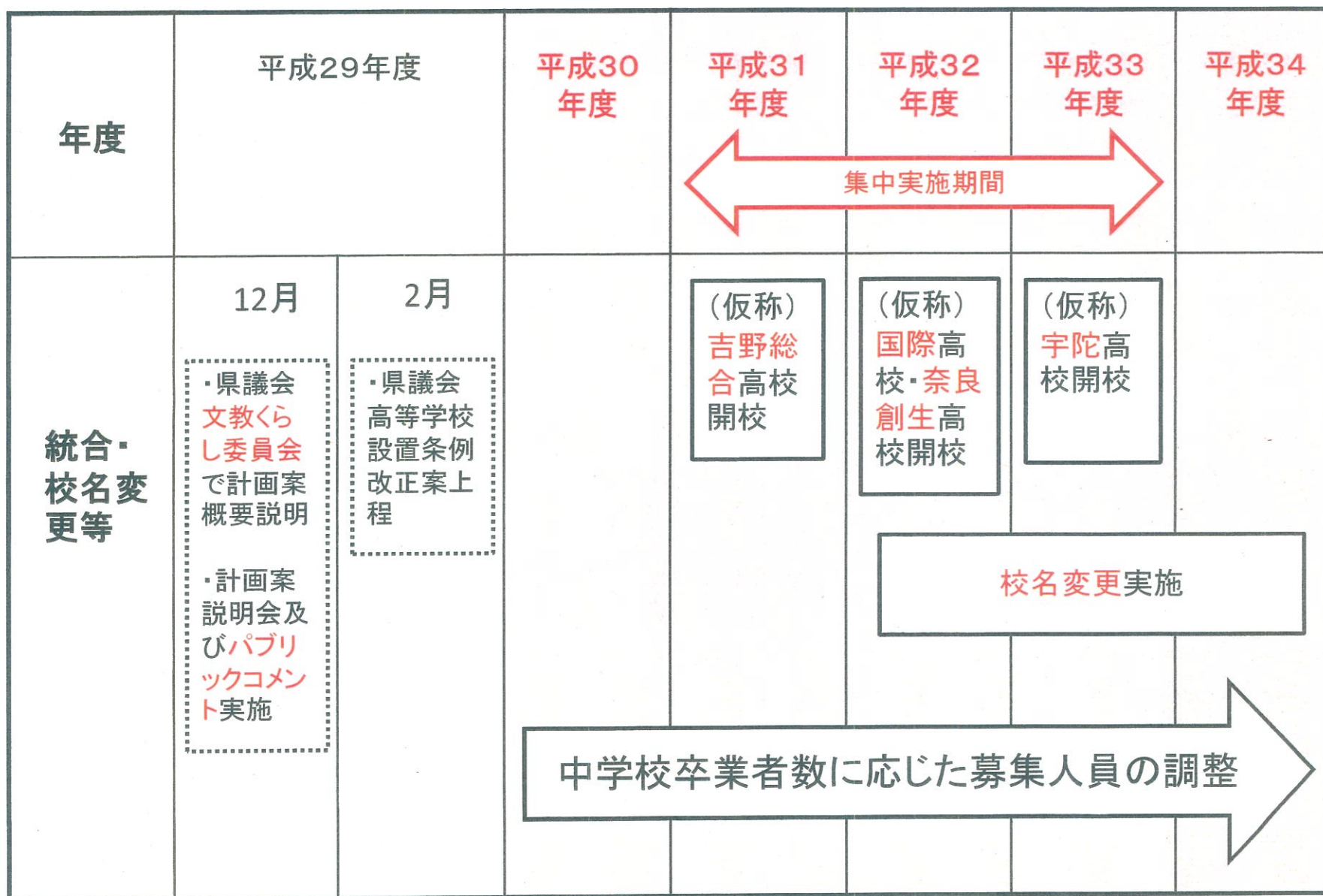
11 適正化の具体 (4) 北部地域 ④ 関連事項(奈良高校耐震)

県立奈良高等学校に関する比較資料

項目		A案…平城高校地活用				B案…現在地での建て替え						C案…旧奈良工業高校跡地活用			
工程表	年度	H32	H33	H34		H30	H31	H32	H33	H34	H35	検討中			
	平城高校利用	平城高2・3年	平城高3年	設備改良工事	移転 奈良高全学年	境界確定・測量 開発許可申請		仮設校舎建設		基本設計 実施設計					工事
事業概算	工事種別	規模		概算費用		工事種別	規模		概算費用		工事種別	規模		概算費用	
	教室等整備			300,000千円		既存校舎解体	7,237㎡		216,000千円		既存校舎解体			514,184千円	
						新校舎建設	7,230㎡		2,169,000千円		土壌汚染対策	12.038㎡		374,996千円	
						外構整備	6,000㎡		120,000千円		新校舎建設			4,069,110千円	
						仮設校舎	2,730㎡		273,000千円		外構整備			502,000千円	
						諸経費			1,042,000千円		諸経費＋税			1,451,784千円	
						改築設計委託			182,704千円		設計委託			308,000千円	
						体育館補強			184,670千円						
				約3億円程度		約42億円程度（移転(引越)費及び什器品費は除く）					約72億円程度（移転(引越)費及び什器品費は除く） （解体・汚染対策を除くと約63億円程度）				
コメント	整備期間					・2期に分けた工事が必要で、工期43月 仮設校舎 9月 外構 3月 1期工事 14月 引越 2月 2期工事 15月									
	教育活動への影響等	・平城高校の統合に伴い、公立高校への志願者が減少しないか。				・工期が長期にわたり、学校の活動の制約が多くなる。（騒音、粉塵など） ・工事期間中もグラウンドは使用可能						・通学の利便性低下			
	その他	・食堂、同窓会館がなくなる ・校舎はS54～56年の建設で今後改修工事が必要				・風致規制の既得権を活用 （既存建物と同様 北館4階、南館3階） ・敷地境界の確定が必要 ・西側グラウンドに仮設校舎建設が必要 ・開発許可申請の手続が必要 ・文化財の発掘調査の可能性あり						・現在の奈良高校校舎のうち、耐震対策終了校舎分も立て替えることとなり、費用はより高額となる。			

※額は概算であり、工事の実施時期、方法等により大幅な変更がある場合がある。

12 県立高等学校の配置及び規模の適正化実施計画スケジュール



(参考) 県立高等学校の配置について

